

自由民主党

衆議院議員田中和徳のり 国政報告書 第232号

ご相談やご意見、ご要望のある方は、お気軽にご連絡下さい。

衆議院議員田中和徳事務所
TEL 03-3508-5111(代)
FAX 03-3508-3504
http://www.kamome.or.jp/k-tanaka
E-mail:k-tanaka@kamome.or.jp



外国人観光客誘致で経済成長!

円安効果で外国人観光客は増加の一途! 今年は過去最高の1,300万人の見込み! 2020年東京五輪までに2,000万人突破を目指します!

1. 訪日外国人観光客の実態と傾向

図1. 訪日外国人観光客数の推移

年	観光客数	備考
1964年	35万人	東京オリンピック開催
1977年	102万人	初めて100万人を超える
1991年	353万人	バブル崩壊
2003年	521万人	ビジット・ジャパン事業開始
2011年	622万人	東日本大震災・福島原発事故
2013年	1,036万人	初めて1,000万人を超える
2014年 1~9月	974万人	通年では過去最多の約1,300万人の見込み

図2. 世界各国の観光客数(2013年)

順位	国	観光客数
1位	フランス	8,300万人
2位	アメリカ	6,980万人
3位	スペイン	6,070万人
4位	中国	5,570万人
5位	イタリア	4,770万人
11位	マレーシア	2,570万人
12位	香港	2,570万人
15位	タイ	2,240万人
22位	韓国	1,220万人
23位	シンガポール	1,190万人
27位	日本	1,040万人

図3. 訪日外国人観光客の国・地域別の内訳

国・地域		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年 1~9月
アジア	韓国	23.4%	28.3%	26.7%	24.4%	23.7%	20.5%
	中国	14.8%	16.4%	16.8%	17.1%	12.7%	18.4%
	台湾	15.1%	14.7%	16.0%	17.5%	21.3%	21.8%
	その他	17.6%	16.4%	16.5%	17.4%	20.6%	18.3%
欧州		11.8%	9.9%	9.2%	9.3%	8.7%	8.6%
北米・中南米		12.9%	10.5%	11.0%	10.5%	9.5%	9.9%
オセアニア		3.6%	3.0%	3.0%	2.9%	2.7%	2.2%
アフリカ		0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%

図4. 日本人の海外旅行による消費活動(支出)と訪日外国人による消費活動(収入)、その推移

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
収入	9,600億円	1兆1,600億円	8,800億円	1兆1,600億円	1兆4,600億円
支出	2兆3,500億円	2兆4,500億円	2兆1,700億円	2兆2,200億円	2兆1,500億円
収支	▼1兆3,900億円	▼1兆2,900億円	▼1兆3,000億円	▼1兆0,600億円	▼6,900億円

- 図1の通り、外国人観光客数は増加傾向、平成25年には初めて1,000万人を突破。平成26年も1月~8月までで約860万人、年間では過去最高の1,300万人の見通し。
- 訪日外国人観光客は1人あたり平均約13~14万円の消費活動を日本国内で行う。図4の通り、近年、外国人観光客数の向上に比例して消費額も大幅に増加している。
- 人口減と消費縮小を迎えた日本経済にとって外国人観光客の増加は大きな意義。

- しかし、図2の通り、世界的には訪日観光客はまだ少なく、平成25年の日本への海外観光客数は世界では27位、アジアに限っても8位に留まる。
- 図3の通り、外国人観光客の約75%がアジア圏に偏る。特に韓国・台湾・中国が多い。
- 図4の通り、近年は改善傾向にあるものの、日本の観光収支は赤字状態が続いている。



衆議院議員田中和徳のり 国政報告書 第232号

衆議院議員田中和徳事務所
TEL03-3508-5111(代)
FAX03-3508-3504
<http://www.kamome.or.jp/k-tanaka>
E-mail:k-tanaka@kamome.or.jp

2. 外国人観光客誘致の現状と課題

- 平成15年、小泉内閣により、ビジット・ジャパン(VJ)事業が開始。
 - ①官民一体の観光客誘致活動。②観光客向けの短期滞在ビザの発行要件の緩和・免除。③日本の航空ネットワークと旅客運送能力の充実等を実施。
- 経済発展による新興国の国民所得向上、国際的な人的交流の活発化により、平成2年には4.4億人だった世界全体の海外旅行客が平成25年には10.8億人まで増加。
- 一昨年の政権交代以降、円安によって訪日旅行への割安感が生じた。
→VJ事業開始から10年で外国人観光客が2倍、1,000万人以上に増加。
- 外国人観光客の満足度調査では、約90%の人々が「大変満足」もしくは「満足」と回答。日本への再訪に関しても、約55%が「必ず来たい」、約35%が「来たい」と回答。
→リピーターの増加により一過性ではない安定的な観光客を確保できる見通し。

○しかし、以下の通り、まだまだ課題が多いのが現実であり、急いで解決に取り組み中。

- 課題①公衆無線 LAN** 日本の公衆無線 LAN は会員限定回線が多く、外国人観光客がノート PC やスマホ等からインターネットにアクセスしにくい。
- 課題②多言語対応** 公共交通機関や観光地、各種ストアや書店等で様々な外国語に対応した案内表示や情報発信、パンフレットや観光客向けの書籍が不足。
- 課題③観光地の二極化** 東京や京都、箱根等、外国人観光客は有名観光地に集中する傾向が強く、地域によって観光客数に格差がある。

3. 2020年に向けたアクション・プログラム

- 平成25年、安倍内閣は「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」を策定。東京五輪が開催される2020年までに年間2,000万人の外国人観光客誘致を目標に、以下の取り組みを実施することを決定。
 - ファッション、食、文化、アニメ等、様々なジャンルの垣根を越えた訪日プロモーションを実施。特に海外旅行客の増加が見込まれる中国内陸部、東南アジア、インド等で集中的に日本の魅力を発信。
 - 世界各国・各所での現地語に訳した日本各地の観光ガイドブックの配布・販売。NHK等の国際放送で日本の名勝を取り扱う観光番組の放映の増加。
 - 著名な日本人メダリスト等、オリンピックに関連づけたプロモーションの実施。
 - 東南アジア諸国やインドに対してビザの発行要件の緩和・免除を推進。空港における出入国手続の迅速化・円滑化。
 - 空港や鉄道駅、観光地を中心に無料公衆無線 LAN 環境の整備促進。観光庁が定めた「多言語対応ガイドライン」を観光地や公共交通機関等で徹底。
 - 地方自治体や商工会議所等と連携し、地方を巻き込んだ広域観光ルートを開拓。複数の空港や鉄道が連携し、地方への交通アクセスの改善を目指す。